

環境部会から

お待たせしました！北雲雀きずきの森の活動拠点に公衆トイレが完成しました。大手前大学の山下真知子先生のアドバイスを受けた、明るいトイレです。「トイレが無いから」と敬遠されていた皆さん、ぜひきずきの森を訪れてください。

11月24日(日)には北雲雀きずきの森にて「森のワークショップとフリマ」を開催しました。2度目となる今回のイベントには約250人の参加者がありました。

定番の丸太切りや薪割にスワッグ作りや木のサンタ作り、豚汁やフランクフルトの販売、昨年のイベントで植えたフジバカマとオミナエシの植え替えや巣箱下ろしなど、思い思いに楽しいひと時を過ごしてもらえた一日でした。



トピックス & お知らせ

「坂っ子ひろば」が児童福祉功労者団体部門で表彰

放課後子ども教室「坂っ子ひろば」が第45回宝塚市社会福祉大会において児童福祉功労者の団体部門で表彰され、代表の〇〇〇〇さんが表彰状を受け取りました。「坂っ子ひろば」が発足して10年以上、歴代のPTAの方々や地域のボランティアに支えられて今日まで継続されました。受賞おめでとうございます。

コミュニティひばりから

- コミュニティセンター敷地内での犬の散歩は禁止されています。ご理解・ご協力をお願いします。
- コミュニティひばりブログを更新しています。「コミュニティひばり」で検索、「長尾台小学校区まちづくり協議会」ページへアクセス下さい。行事の様子やお知らせのほか、子育て、福祉、環境、防災の関連サイトへのリンクもあります。



コミュニティひばりへのお問い合わせ・ご意見・ご要望は事務局へ
不在の場合がありますが折り返しご連絡します。
電話・FAX：072-774-9191
メールアドレス：hbrcom@jttk.zaq.ne.jp

レギュラー事業

- ふれあい喫茶「思い出の歌ひろば」
第4水曜日 10:00～11:30
コミュニティセンターにて
- ひばり子ども館
月曜日から土曜日
10時～12時/13時～17時
(日曜日・祝日・年末年始は休館)
- 出前児童館
第3木曜日 10:00～12:00
雲雀丘倶楽部2階和室にて

ふれあいテラスでの相談事業

- 福祉なんでも相談
第2水曜日 13:30～15:00
- キャリアアップ相談
第4木曜日
11:00～15:00/一人50分

長尾台小学校区のしんぶん

コミュニティひばり

No.93

長尾台小学校区
まちづくり協議会
コミュニティひばり
長尾台1-1
会長 〇〇〇〇
2019年12月21日発行

宝塚市公共施設(建物施設)保有量最適化について

【保有量の最適化とは何か？】

宝塚市では高度経済成長期に建設した多くの公共施設が老朽化していますが、市の財政状況から今後施設の維持管理に多額の投資を続けることが難しくなっています。

そのため2019年7月に宝塚市は今後予測される人口減少の推移に合わせて市の保有する建物施設を削減・効率化を進める「宝塚市公共施設(建物施設)保有量最適化方針」を策定しました。

この方針は市の保有する公共施設を①地域団体や民間事業者へ譲与 ②ニーズの減少した施設の統合 ③老朽化した施設の廃止などの方法で削減し、施設廃止後の土地の売却や貸付などで得た収益を存続する建物施設の維持管理費に充てる、というものです。

詳しくは宝塚市HPをご覧ください。市役所・施設マネジメント課にお問い合わせください。

【対象施設と宝塚市の方針】

長尾台小学校区で対象とされる施設は5つで、各対象所には種々の方針が示されています。

前期(2019年度から2027年度まで)

- 1) 雲雀丘サービスステーション
機能を廃止し他の用途に転用
- 2) つつじが丘自治会集会所
自治会に建物を譲与、土地を貸与
- 3) 旧安田邸
民間事業者へ建物を譲与、土地を貸与して公共のための施設にする

後期(2028年度から2035年度まで)

- 1) 共同利用施設松ガ丘会館：施設のあり方を検討
- 2) 花屋敷グラウンド旧独身寮
建物を解体し土地を民間事業者等に貸付

つきましては、身近な公共施設の最適化はコミュニティの住民の方々にとっては大変重要な問題であります。コミュニティひばりの高齢化率は宝塚市平均の約27%強より高く、現在は約33%と厳しく大きな負担が地域住民の方々にのしかかってきます。(住民の方々のご支援を頂きたいと考えております。)

太陽設備宝塚発電所開発計画について

2019年10月26日(日)市立花屋敷グラウンド管理棟にて、コミュニティひばり主催による太陽設備宝塚発電所開発計画(特定開発事業構想令和元年度第0011号)の住民説明会を行いました。参加者は24名で隣接する川西市から1名の参加がありました。

この事業計画は切畑字長尾山1-1ほか北雲雀丘きずきの森に隣接する地区を開発して太陽光発電所を作る計画で、事業区域面積9.2433ha(甲子園球場の約2.4倍)、パネル設置枚数は10332枚と説明されています。事業者からの説明の後、参加者からは「大規模に山を削ることにより土砂災害が心配」、「北雲雀きずきの森など近隣地域の自然にどんな影響が出るのか?」、「きずきの森に生息するモリアオガエルなどの希少生物が心配」等の活発な意見や質問が出ました。

その後、事業者より11月18日付けで特定開発事業計画報告書が宝塚市に提出され、12月2日まで市開発指導課で縦覧と住民からの意見書提出が受け付けられました。

これを受け、開発事業者は意見書に対し見解を返しました。特定開発事業計画報告書、意見書は市のHP(コミュニティひばりブログからもリンク)で閲覧できます。

住民の皆様の懸念を払拭するためには、今後も行政や事業者と継続した話し合いが必要です。コミュニティひばりは皆様と一緒にこの問題に取り組み、情報発信していきます。



▲10月26日住民説明会の様子